

Tricine バッファーキット

Peptide-PAGE 用

プロトコール

注意：LS-PAGE をご使用の場合は LS-PAGE に添付の説明書 (I-320, LS-PAGE System) のプロトコールに従って操作してください。

1. Tricine サンプルバッファーには還元剤が含まれていません。還元条件で泳動する場合は、5ml Tricine サンプルバッファー(2X)、に対して0.25mlの2-メルカプトエタノール, または0.1gのジチオトレイトールを加えてから次の試料溶液を調製してください。還元剤入りサンプルバッファーは使用時に新しく調製してください。

注意：Tricine サンプルバッファー(2X) は使用前に30 - 40℃で完全に溶解してください。

2. 試料とTricine サンプルバッファー (2 x) を (1 : 1) の割合で混合し、95℃で5分間加熱します。
3. Tricine 泳動バッファー (10x) を蒸留水で10倍に希釈し、Tricine泳動バッファー (1x) を調製します。泳動装置の上部および下部バッファー槽にそれぞれ適量のTricine 泳動バッファー (1x) を注入します。上部バッファー液はゲルカセットのウエル上端より3-4mm上の位置まで注入します。TEFCO セイフティーセルミニ, S T C-808 の場合、上部バッファー槽に約 200ml、下部バッファー槽に 300 - 600ml を使用します。
4. ウエルに試料溶液を添加します。タンパク質の負荷量はクマシーブルー染色を行う場合、通常 1バンド当たり 0.1 - 0.5 μ g が適量です。
5. 下記の泳動条件に従って泳動を行います。

電 圧	:	125V 定電圧
予想電流	:	開始時 : 80 mA / 1mm 厚ゲル
		終了時 : 40 mA / 1mm 厚ゲル
泳動時間	:	約 90 分

注意：予想電流と泳動時間は泳動バッファーの温度により変化します。

クマシーブルーG 250 (青色) がゲル下端付近まで移動したら電源を切り、泳動を終了します。

2015/1/22

6. 泳動終了後、ゲルをカセットから取り出し、必要に応じて、固定、染色、ブロットイング等の操作を行います。

品名

		Cat.No.
Tricine バッファー キット (06-323, 324 各 1 本)	4℃保存	06-321
Tricine サンプルバッファー (2X), 20ml 2 本	4℃保存	06-323
Tricine 泳動バッファー (10X), 500ml	室温保存	06-324

用途 Peptide-PAGE (Tricine 系 SDS-PAGE) の泳動

組成

Tricine サンプルバッファー (1X)	
Tris-HCl, PH8.45	450mM
Glycerol	12%
SDS	4%
Coomassie Blue G250	0.0075%
Phenol Red	0.0025%
Tricine 泳動バッファー (1X)	
Tris base	100mM
Tricine	100mM
SDS	0.1%
PH	8.3
* 酸やアルカリを用いて pH を調節しないで下さい	

テフコ株式会社

〒192-03 東京都八王子市越野 5-5

TEL 0426-76-3513

FAX 0426-76-9150

<http://www.tef.co.jp>

2015/1/22